

オバマ大統領、知的財産執行調整官(IPEC)にエスピネル元知財担当通商代表補を指名

2009年9月28日  
JETRO NY 中楨・横田

ホワイトハウスは、25日、知的財産執行調整官(Intellectual Property Enforcement Coordinator: IPEC)に、ビクトリア・エスピネル(Ms. Victoria A. Espinel)氏を指名したと発表した<sup>1</sup>。

IPECは、昨年、ブッシュ政権下で成立した包括的模倣品・海賊版対策強化法(PRO-IP法)により新設されたもの。同ポストは、同じく同法で新設される関係省庁高官が委員を務める知的財産執行諮問委員会(advisory committee)の議長をはじめ、同委員会がまとめる政府の共同戦略プラン(joint strategic plan)の策定や実施の補佐と調整、大統領及び議会への報告等、米国知財が国内外で適切に保護されるよう模倣品・海賊版対策を強化することを責務としており、その職責から米国では「IP Czar」と比喻されている<sup>2</sup>。

知財エンフォースメントは複数の関連省庁に業務・権限がまたがり、実効性向上に向け省庁間の調整能力やリーダーシップが求められる中、米国産業界(特に米国著作権産業界)からの期待は高く、初代IPECに誰が指名されるかが注目されていた。

同発表によれば、エスピネル氏は、現在、非営利法人「Bridging the Innovation Divide」の創設者権代表、及びジョージ・メイソン大学ロースクール客員準教授を務めている。また、同氏は、通商執行代表部(USTR)の知財・イノベーションに係る通商代表補としての経験を有し、USTRの知財問題担当首席通商交渉官を務め、また06年6月に知財保護問題に焦点を当てるためUSTRが従前の「サービス・投資・知的財産局」から「知的財産部局(Office of Intellectual Property)<sup>3</sup>」を独立させた際には、当該部局のトップに任命された人物である。そのほか、上院司法委員会をはじめとした知財関連委員会スタッフの知財担当アドバイザーも務めていた。

なお、IPECが大統領府のどの部署に所属するか(又は独立した組織になるのか)が不明であったが<sup>4</sup>、今般の発表によれば、少し違和感はあるが行政管理予算局(Office of Management and Budget)に所属するようである。

今般の初代IPEC指名を受け、知財関連団体(特に著作権産業団体)からは、同氏の指

<sup>1</sup> [http://www.whitehouse.gov/the\\_press\\_office/President-Obama-Announces-More-Key-Administration-Posts-9/25/09/](http://www.whitehouse.gov/the_press_office/President-Obama-Announces-More-Key-Administration-Posts-9/25/09/)

<sup>2</sup> 詳しくは、081014【米国 IP 情報】包括的模倣品対策協会法案(PRO-IP 法案)が成立、080929【米国 IP 情報】包括的模倣品対策強化法案(PRO-IP 法案)、議会を通過し大統領の署名待ちへ 参照

<sup>3</sup> 現在の部署名は「知的財産・イノベーション部局(Office of Intellectual Property and Innovation)」。  
060912【米国 IP 情報】USTR がイノベーション政策強化に向け、知的財産部局の拡充を発表 参照

<sup>4</sup> IPEC の指名発表がこれほど遅くにずれ込んだのは、ポストをどの部署に所属させるかの議論が要因と見る向きもある。

名を歓迎するコメントが相次ぎ発表されている<sup>5</sup>。

今後同氏は、上院での公聴会及び承認手続きを経て、初代IPECに正式に就任することとなるが、現時点で公聴会の日程等は決まっていない。

(了)

---

<sup>5</sup> 指名発表に係る各団体からのコメント [全米商工会議所グローバル知財センター](#)、[Business Software Alliance\(BSA\)](#)、[Copyright Alliance](#)、[Motion Picture Association of America\(MPAA\)](#)、[Record Industry Association of America](#)、